

摩周湖—透明な湖水をのぞき込んでみよう

摩周湖はその湖水の透明度の高さで有名です。摩周湖には流出入する河川や水路がないので、沈泥や藻類や、その他の浮遊物が湖水を濁らせることはありません。大部分が雨水からなる湖水は「摩周ブルー」と呼ばれる独特の深い青色をしています。

湖で見られる霧

摩周湖の湖上には年間を通じて頻繁に霧が発生します。5月～10月のハイシーズンに、湖面全体がはっきり見える日は平均で137日、半分ほど見える日は54日、湖面がまったく見えない日は29日です（2008-2018年のデータによる）。霧は6月と7月に最も濃くなり、この期間中に湖面が完全に見えるのはわずか15日ほどです。湖の周辺では、明るく晴れた天気から霧深い薄暗い天気へと数分の間に急変することがあります。

カムイシュ島

カムイシュは摩周湖に浮かぶ唯一の島です。島は溶岩が固まってできた柱で、湖底から約240メートルの高さがあり、その先端30メートルが湖面上に姿を現しています。島の広さは500平方メートルです。